

■ 各日の質問予定者

日	順 番	氏 名
9月18日(水)	1	櫻 庭 節 子
	2	丸 山 章
	3	山 田 忠 晴
	4	伊 崎 博 幸
	5	宮 越 馨
9月19日(木)	6	高 橋 浩 輔
	7	平 原 留 美
	8	滝 澤 陽 一
	9	宮 崎 朋 子
	10	江 口 修 一
9月20日(金)	11	草 間 和 幸
	12	高 山 ゆ う 子
	13	平 良 木 哲 也
	14	橋 爪 法 一
9月24日(火)	休会	

※各日の質問予定者は、変更になる場合があります。

順番	質 問 事 項
氏名	
1	<p><b>1 人口減少対策について</b></p>
櫻庭節子	<p>(1) 人口減少対策に関して、これまでも国や地方自治体の子育て支援等に励んできたが明確な解決策が見当たらない現状である。そこで子育ての前段階にある「結婚支援」が必要だと言われるが、そのためには男女ともに雇用の安定と多様な雇用形態の整備が必要と思われる。また都道府県別の出生率からは、若い女性が地方から転出して首都圏に集中することで、更に出生率を引き下げていることが見て取れる。これらのことから以下の提案をするので、市長の考えを聞きたい。</p> <p>ア 結婚を希望する人たちの収入の安定を図るために、非正規雇用の割合を下げるよう、人口減少対策の一環として国に要望すること。</p> <p>イ 出産から子育て期における柔軟な働き方を実現できるよう、国に要望すること。</p> <p>ウ 東京一極集中が日本の人口減少の原因と考えるため、地方での働く場の確保を含めた分散型社会の実現について取組を強化するよう国に要望すること。</p> <p>エ 上越市独自で「女性たちが魅力を感じる職場づくり」に成功している企業にスポットを当てる表彰制度を創設すること。</p> <p><b>2 国のエネルギー政策からみた原子力発電所の再稼働と再生可能エネルギーの課題について</b></p> <p>(1) 本年度は柏崎刈羽原発の再稼働が本格的に議論されてくると推測される。我が国はエネルギー資源に乏しく、それは常に国の経済政策に大きな影響を与えてきた。国は、東日本大震災の後には原発を抑制し、再生可能エネルギーを推進しているが、課題は少なくない。今後、CO<sub>2</sub>の削減やAI技術の活用が更に求められることから、電力使用量が増加することが推測される。また、九州では、原発を早期に再稼働して電気料金を他社に比べて三割以上減らしたことで、TSMCなどの企業誘致に成功したと思われる。こうした中、岸田政権では安全性を担保しながらの原発再稼働にシフトした。このような現状から、国が安全を担保したうえで原発再稼働へと舵を切る必要があると考えるが、それに対する所見を聞きたい。合わせて、再生可能エネルギーの課題に対する所見を聞きたい。</p> <p><b>3 総合事業について</b></p> <p>(1) 高齢者が自信と喜びをもって生活するには健康であることが重要なので「介護予防」にこそ力を入れるべきと考えるが、国の制度は予防事業に対する点数が低く、事業者が予防に力を入れにくい実情がある。このままでは「介護予防」に力点を置く通所介護や訪問介護の事業者が経営不可能に陥ることも危惧されることから、国の総合事業に対する評価を聞きたい。また、「介護予防」の重要性に関しての考え方と、今年度から上越市の総合事業で廃止された「運動器機能向上加算」・「事業所評価加算」を復活し、送迎減算を見直すことができないか聞きたい。</p>

**4 新型コロナウイルス感染症mRNAワクチン接種について**

(1) 新型コロナウイルス感染症mRNAワクチン接種に関し、令和6年6月議会での伊崎議員の一般質問で、市長は上越市ではワクチン接種の副反応に関する相談等には適宜対応してきたと答えているが、令和6年4月1日現在までの日本人に対する接種総数は436,193,341回で、一人当たりの接種回数は欧米の各国と比べても非常に多い。副反応被害者への救済認定数を見ても、記録に残る過去45年間のすべての健康被害救済認定数を総合計したものより、コロナ下での4年間の認定数が二倍以上多いという事実にも驚かされる。また名古屋大学名誉教授の小島勢二氏がコロナ下での2021年、2022年の日本の超過死亡数が異常に上がっていることに関して「ワクチン接種との関連が疑われることから今後ともその推移を観察すべき」と警笛を鳴らしていることから、超過死亡数の増加に関する所見を聞きたい。また「国の救済制度があるので市独自の支援はしない」と答えているが、国の救済制度は認定までの道が非常に困難なことは他の薬害被害の裁判などでも散見されることから、市として被害者にどう寄り添うか考えを聞きたい。

順番	質 問 事 項
氏名	
2	<p>1 「日本桜庭園上越」構想の提言について</p>
丸山章	<p>(1) 高田平野は、関川とその支流からなる複合扇状地となっている。この地形や山(妙高連峰、関田山脈、名峰「米山」)、海など、豊かな自然が織りなす圧巻の特徴ある素晴らしいロケーションと、日本三大夜桜と称される高田城址公園の桜の付加価値を高めるべく、当市の木「桜」という観光資源により、当市の魅力を際立たせる。そのうえ、春日山城、雁木町屋の街並みの形成及び寺院群などの豊富な観光資源を複合的に絡み合わせ、それぞれの持ち味を高めていく。そして、10年～20年後を見つめながら当市全域を日本桜庭園化し、世界に誇れる「黄金の都市」づくりをめざす。市民の手づくりによる観光資源の創出は、究極のまちづくり、地域づくりにつながるもので、まちづくりの原点である。しかも日本・世界でこうした試みはないと思われるため特徴づけられ、その波及効果は極めて大きく、話題性、注目度も加速すると考えられるため、以下の構想を提言するが、いかがか。</p> <p>ア コンセプト</p> <p>(ア) 市民の手づくりによる観光の核(土台)となる「日本桜庭園上越」を創り、新たな観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げる。</p> <p>(イ) 魅力を高め、県内外及びインバウンド(外国人)客等呼び込み、市内経済の活性化並びに移住定住者等の増加をめざす。</p> <p>イ 「日本桜庭園上越」の姿</p> <p>(ア) 高田城址公園の桜(ソメイヨシノ)に特化して、挿し木、接ぎ木により同じ遺伝的性質を持った苗木を増やす。それを各戸(世帯)、協力機関等が低額(1本500円程度)で購入していただき、大切に育てていただく。植える場所がない場合は、鉢植えで参加していただく。</p> <p>(イ) 協力機関ごとに協議のうえ、植栽可能地に桜を植えていただく。</p> <p>(ウ) 植栽面積、本数ともに、日本・世界に類を見ない規模にする。まずは10万本を目標とする。</p> <p>(エ) 並行して、他の観光資源の魅力を向上させ、ストーリーを仕立てていく。</p> <p>(オ) 観光の軸となる「しっかりした幹」に、しなやかな枝(様々な観光資源)を配し、話題性、関心度、注目度抜群の観光都市をめざす。</p> <p>ウ 期待される効果</p> <p>(ア) 「日本桜庭園上越」の呼称が計画等に反映され、市民の認識が深まり意識統一が図られる。</p> <p>(イ) 市民の方々の更なる自信と向上心の高まり。</p> <p>(ウ) 愛着や誇りを抱ける地域づくり。</p> <p>(エ) 当市の知名度、ポテンシャルの向上。</p> <p>(オ) 県内外、外国人客の誘客やリピーター増につながる。</p> <p>(カ) 他の観光資源への波及・相乗効果、移住定住者対策、市内経済等の活性化・発展が望める。</p> <p>(キ) 多種多様なジャンルでのブランドづくりにつながることを期待できる。</p>

(ク) 上越市のネームバリューを高めることにより、上越市の認知度が上がるとともに、各分野の様々な政策(施策)でも効果が期待できる。

エ 管理

(ア) 協力機関が行う。

(イ) 病気対策・土壌調査、苗の育て方(方法)等についての管理組織(組合等)を立ち上げる。

オ 管理費

(ア) 市民、企業等の寄附、ふるさと納税、市補助金ほか。

カ 協力機関

(ア) 市民、町内会、事業所・企業、各種団体、国、新潟県。

キ 将来像

(ア) 40年～50年後、世界遺産登録を見据える。

(イ) 誰が見ても同じように素晴らしいと感じる価値である「顕著な普遍的価値」を有している世界遺産、これを証明するものとして「10項目の登録基準」が定められている。世界遺産に登録されるには、最低でもこの基準の1つ以上にあてはまることが条件となる。登録基準である人間がつくった傑作(人間が作り上げた素晴らしい傑作である遺産に認められるもの)と、自然の景観美(美しい自然景観や独特な自然現象が見られる遺産に認められるもの)での登録を目指す。

## 2 市長の政治姿勢について

(1) 令和6年7月の市議会臨時会で、市長の辞職勧告決議案が可決されたことに伴い、市長は責任の取り方をお盆明けに表明するとし、令和6年8月23日付で考え方を市議会議長に文書提出した内容に関し、以下の点について聞きたい。

ア 令和6年6月定例会における不適切発言により、多くの市民から市役所に抗議電話等が殺到したほか、市長への辞職勧告決議案では8割の議員が賛同し可決された。一方、市長は応援くださる方々の声も聞くので、その期待に応えたい思いが日増しに強くなり職責を全うするとしたが、どの程度の応援の声があったのか。また、民主主義国家である我が国の自治体首長として、より多くの声を尊重することを判断基準にすべきでないのか。

イ 市長は、市長としての重責を果たしていかなければならないとの思いもあり、公務を遂行することにしたとのことだが、数々の失言に対して、もうこれ以上中川市長に市政(重責)を任せられない、市政を停滞させられないとの思いで、市民はもとより議会も圧倒的多数で市長の辞職を迫った。正常な市政運営と市政発展のために、自ら身を引くべきでないのか。

## 3 こども発達支援センター「分室」について

(1) 頸北4区に偏っている「こども発達支援センター分室」について、平成29年から見直しを促してきたものの、一向に進展がなかったため、令和4年6月・令和5年6月定例会で問題点等を指摘し、早急な見直しを迫ったところ、スピード感を持って対応していくとの答弁であった。見直しの進捗状況を聞きたい。

順番	質 問 事 項
氏名	
3	<p><b>1 各種証明書の取得における申請者等の負担軽減について</b></p> <p>(1) 当市における窓口での住民票の写しや印鑑登録証明書の取得、住民異動の手続き等は、手書きの申請書が使用されているため、申請者の負担が大きい。先進市では、事前にスマートフォンで入力し、二次元コードを窓口に提示するだけで申請書が印刷され、本人確認、署名だけで手続きが終わる。市民の利便性向上や職員の業務負担を軽減する観点から、当市も導入する考えはないか。</p> <p><b>2 公の施設の維持管理や緊急修理等の対応について</b></p> <p>(1) 当市の施設は、立地条件や使用頻度、各施設の目的により、これまでも長寿命化や施設の利便性を考慮して、維持管理や修繕が行われてきた。計画性を持って対応してきたことは承知しているが、計画よりも早く修繕しなければならない場合や緊急に修理が必要な場合の対応について聞きたい。</p> <p><b>3 市長の定例記者会見の動画配信について</b></p> <p>(1) 市長の定例記者会見の市長による説明部分は、手話通訳者も配置し、撮影された動画をY o u T u b eの市公式チャンネルで配信しているが、市長による説明終了後の報道機関との質疑応答は配信されず残念だという市民の声がある。時間の都合等諸事情があるのかもしれないが、市長の声が市民に伝わる大事な場面であるため、動画配信する考えはないか聞きたい。</p>
山田忠晴	
順番	質 問 事 項
氏名	
4	<p><b>1 mRNAワクチンの検証について</b></p> <p>(1) 令和6年4月26日までの予防接種健康被害救済制度の認定数は、新型コロナワクチンを除く全てのワクチンが3,649件であるのに対し、令和3年2月から接種を開始したmRNA新型コロナワクチンは7,117件も認定されており、史上最大の薬害と言っていい数値である。今後始まるワクチン接種では、このような事実があることを市民が理解した上で選択することが望ましいと考える。これらを踏まえ、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 令和3年から現在までのmRNAワクチンの効果をどう把握しているか。また、今回の特例臨時接種における新潟県と上越市のコロナワクチン被害認定者数及び死亡者数を聞きたい。</p>
伊崎博幸	

順番	質問事項
氏名	
5	1 中川幹太市長の政治姿勢について
宮越馨	<p>(1) 上越市議会は令和6年7月19日、市長に対する「辞職勧告決議」を可決して直ちに辞任を求めたが、市長は同年8月23日、新たな処分案もないまま、議会への直接の説明もなく、一片の通知文だけで辞職はしない、市長職を続けたいとの意向を一方向的に表明した。これは、あり得ないことであり、議会軽視も甚だしく、辞職勧告決議に賛成した議員や議会を愚弄するものである。どのような根拠でそのように判断したのかを聞きたい。</p> <p>(2) 意向表明では、「私を応援してくださる方々の声を聞き、その方々の期待に応えるため辞職しない」としているが、市民の代表である議員の8割を超える賛成で成立した辞職勧告を受け入れない理由を聞きたい。</p> <p>(3) 「公職の候補者でなくなった際に、先の市議会臨時会に提案した減給額に相当する額を上越市に寄付する」としているが、実行性への担保力がない。現職の内に供託金として準備するなどすれば少しは信じられるが、本当にその資力があるのか疑問である。そもそもこの問題は金銭的に解決する問題ではなく市長としての資質の問題である。また、仮に実行性がないとすれば不適切発言などへの謝罪と処分案はゼロ回答ということになる。辞任しかないと思うが、今後どう対応するのか聞きたい。</p> <p>(4) 市長選挙で市長を応援した市民のうち、かなりの数の市民が今すぐ辞任することを求めており、現時点での市長への支持は市長選挙における過半数を大きく下回ると思う。それにも関わらずなぜ辞任しないのか聞きたい。</p> <p>(5) 令和6年8月22日、市民有志が市政立て直し緊急市民集会を開き、市長に対して即刻辞職を求める決議がなされた。また、辞職しない場合はリコールも辞さないとしており、市長の辞任を求める市民の声は極めて大きい。「これ以上、上越市をダメにし、後退させないでほしい」、「桑取の育ての親の有力者も「辞めるべきだ」と市民集会で断言された。即刻辞任すべきではないか」といった声もあるが、所見を聞きたい。</p> <p>(6) 市民有志が緊急市民集会の決議文を直接市長に届けようとしたが、受け取らないとのことである。広く市民の声を聞く、市民に寄り添うとする市長の姿勢と矛盾するが、その理由を聞きたい。</p> <p>(7) 就任以来、不適切発言は10回あるとのことだが、内容を具体的に聞きたい。</p> <p>(8) 令和6年1月1日の能登半島地震の際、震災対策本部に登庁しようと思えば簡単に行けたとの地元の声を聞いた。危機管理能力があれば進んで現場に足を運び対策に取り組んだはずである。また、記者会見では「交通渋滞は帰省客が原因」とか「対策は万全だった」などと言っており、職員はあきれ返っていると思う。市民不在の震災対応であり、市長が言う現場主義とはかけ離れている。容易に登庁できたにもかかわらず、自宅に留まり翌日の午前11時まで登庁しなかった理由を聞きたい。</p> <p>(9) 市長選挙中、「米は農協に売るな」と公言していたが、その考えに変わりはないか聞きたい。</p> <p>(10) 保倉川放水路建設費用の「概算額」を「あいまいな額」と発言したことについて、国に謝罪したのか聞きたい。</p>

- (11) 公的場面での「挨拶文」の取り違えを何度かしているが、関係者に謝罪したのか聞きたい。また、取り違えの理由を聞きたい。
- (12) 県内首長の関係会議などで、県下第三の都市の市長にふさわしくないような発言があると聞くが、問題はないのか聞きたい。
- (13) 市長のビジョンと指導力が見えず、職員が決定権を持っているかのような言動を見かけるが、組織内のガバナンスが効いているかを聞きたい。
- (14) 令和6年8月23日の記者会見で「上杉謙信」を「上越謙信」と発言したのは理解に苦しむ。問題発言をしないよう、コミュニケーションのプロから助言を受けながら対応するとしていたが、それにもかかわらずこうした発言をするのは、根本的に市長としての資質が欠けることに尽きると思う。なぜこのような発言になったかを聞きたい。
- (15) 市長が続投すると企業活動に影響が出るとの報道がある。高卒者を蔑視する市長のまちに新たに事業所を構えようとする企業はないと思う。高卒者からは「就職する際、中川さんが市長をしている上越に戻るのは、正直悩む」、「一度でも失言すれば不信感が残る。若者の流出を課題としているが、高卒者への不適切発言をするような市長だから若者がいなくなるんだと思う」などとの声があり、多くの市民が嘆いている。即刻辞任すべきと考えるが所見を聞きたい。

## 2 辞職しない、できない背景などについて

- (1) 辞職しない理由が今一つ不明であるが、目に見えない圧力が存在しているのか聞きたい。
- (2) 市長は常々しがらみのない政治を行いたいとしているが、特別なしがらみがあることを強く感じる。しがらみが辞職を妨げているのではないか。そうだとすれば、それはどのようなしがらみなのか聞きたい。
- (3) 市長をコントロールしている部外者が存在し、市政の歪みを生じせしめているのではないかという声が多くある。そうした実態があるのか聞きたい。
- (4) 「辞職して再選挙も考えたが、市政に空白を生じさせるから続投する」としているが、こうしたことは民主主義のコストである。辞任しない理由には当たらないと考えるが、所見を聞きたい。
- (5) 前静岡県知事の辞任理由となった不適切発言と、市長の発言は極めて酷似していると思うが、所見を聞きたい。
- (6) 不適切発言が全国に報道されることで上越市の名誉を傷つけ、新潟県知事もこうした事態を憂いている。県との関係で問題はないのか。

## 3 政策協定などについて

- (1) 私との政策協定については「納得したらやる」とのことだが、納得したから協定を結んだのではないか。初めから協定を守る気があったのか、真意を聞きたい。
- (2) 市長経験者である私からの指導をお願いしたいとのことだったが、市長就任直後の「職員の昼食時の消灯廃止」のアドバイスは実行されたものの、それ以降は指導要請や連絡は一切ない。その理由を聞きたい。



	<p>(3) 政策協定を結び協力して上越市発展に取り組んでいたらどれほど発展していたか計り知れない。そうしたチャンスを逃している市政は直ちに是正しなければならないと思う。出来なければ私が実現させるので、今すぐ辞任してもらいたい。決断を問う。</p>
<p>順番</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>氏名</p>	
<p>6</p>	<p><b>1 広域観光への対応について</b></p> <p>(1) 上越市における観光施策推進の核となるのは観光振興課、魅力創造課、そして上越観光コンベンション協会であると認識しているが、今後の広域観光・広域連携を見据えた場合、この三者がどのように連携していくのか。</p>
<p>高 橋 浩 輔</p>	<p><b>2 北陸新幹線開業10周年を迎える上越妙高駅について</b></p> <p>(1) 令和7年に上越妙高駅が開業10周年を迎える。この間、市は上越妙高駅及びその周辺地域を玄関口・ゲートウェイと位置付け整備を進めてきたが、どのように評価しているか。また、今後更なる機能強化のために、どのように取り組んでいくのか聞きたい。</p> <p><b>3 妙高高原地域及び北信地域におけるリゾート開発構想への対応について</b></p> <p>(1) 妙高市の妙高高原地区及び長野県の北信地域において、外資系投資ファンドによる大規模リゾート開発が始まると報じられておよそ2年が経過した。報道等によれば計画は予定通り進んでいると聞く。当市としても広域観光や広域連携、地域活性化等の観点から強い関心を持って対応していかなければならないと感じていることから、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 情報収集を行っていると思うが、それをもとにどのような体制で、どのように対応をしていくのか。今後の構想があれば聞きたい。</p> <p>イ 観光産業は裾野が広く、様々な分野への経済波及効果が期待される。それらをかかしていくための戦略はあるのか。</p>

順番	質 問 事 項
氏名	
7	<p><b>1 通年観光計画について</b></p> <p>(1) 令和6年度から令和12年度までの7年間における通年観光計画事業について、令和6年度の進捗状況について聞きたい。</p> <p>(2) 通年観光の考え方のうち、目標は「繁忙期(4月、7月、8月)以外の入込客数の底上げ」とあるが、冬季はどのような事業を計画し、地域全体にどのような効果を期待しているのか聞きたい。</p>
平 原 留 美	<p><b>2 ゲートウェイとしての上越妙高駅周辺について</b></p> <p>(1) 上越市第7次総合計画における基本構想では、土地利用構想の方向性が示されている。暮らしを支える拠点の構築について、都市・地域・生活・ゲートウェイの4つの拠点整備の考え方に分類されており、上越妙高駅周辺はゲートウェイとされているが、ここで言うゲートウェイとはどのような意味か。</p> <p>(2) 上越妙高駅周辺については、「観光やビジネスを目的とした来訪者をもてなすにふさわしい環境整備や都市基盤の充実を図る」とされているが、ふさわしい環境や都市基盤とは何か。</p> <p><b>3 上越妙高駅周辺地区商業地域への進出企業支援制度について</b></p> <p>(1) 上越妙高駅周辺地区商業地域においては、建築資金の借入利子補助、土地を除く固定資産税相当額を対象とした奨励金並びに、レンタルオフィスへの入居家賃補助の3つの支援制度が設けられている。建築資金の借入利子補助、土地を除く固定資産税相当額の奨励金の対象施設には、飲食店が含まれているが、レンタルオフィス・サポート事業補助金には、飲食店が含まれていないのはなぜか。また、今後、当該補助金の補助対象に飲食店を含めるほか、新たな補助制度を設置する予定があるか聞きたい。</p>

順番	質 問 事 項
氏名	
8	<p><b>1 地域資源を活かした観光施策の推進について</b></p>
滝澤陽一	<p>(1) 市長公約である通年観光の取組を高田、直江津、春日山で進めているが、周辺の13区にも素晴らしい地域資源が多く存在している。頸北地域だけでも日本三大薬師の1つに数えられる「米山」や、パラグライダーで賑わう「尾神岳」、市内唯一の温泉街である「鵜の浜温泉」など、歴史ある観光地が存在している。通年観光の取組による13区への波及を期待するだけでなく、市内各地に存在する地域資源を磨き上げ、上越市全体での誘客に注力していく必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 市内外から毎年大勢の登山客が訪れる「米山」について、登山道整備や山頂避難小屋、トイレの清掃・管理、学校登山のガイド等に長年協力いただいている「柿崎山岳会」が会員の高齢化により令和7年度末で解散すると聞いた。これまで「柿崎山岳会」が担ってきた取組について、市として今後どのように対応していくのか。</p> <p><b>2 柿崎区における新保育園の建設候補地の決定について</b></p> <p>(1) 柿崎区における公立4保育園の統合による新保育園の建設候補地が「柿崎体育館跡地」に決定したと発表されたが、この場所に決定した経緯と理由、新保育園開園までの大まかなスケジュールについて聞きたい。</p> <p>(2) 建設候補地は国道8号沿いに立地しており、朝夕の通勤等で車の交通量が多い等、通園について保護者や地域住民から心配の声があるが、どのように考えているか。</p>

順番	質 問 事 項
氏名	
9	<p><b>1 保健センターの利活用について</b></p>
宮崎 朋子	<p>(1) 保健センターは、市民の誰もが利用できる施設である一方で、その事業内容が健康診断や健康相談、指導が主であることから、市民の利用頻度は高くはないと考えるが、どの施設も地域住民の利便性が高いところに位置していることがメリットと言える。現在稼働している9施設については、従来の保健サービスのほか、どのような事業で施設の利活用促進を図っているか。</p> <p>(2) これからの保健サービスは、今まで以上に市民一人一人の生活習慣の改善、健康意識が低い人へのアプローチが必要と考える。建物の老朽化や適正配置計画が進む中で、空きスペースの活用方法として、これからは誰もが「健康」に関心を持ち、気軽に体験や学習、セルフチェック等ができる複合施設としての保健センターが市内には必要と考えるがどうか。また、その効果を高めるためにヘルスケア事業者(スポーツ・飲食・農業・保険・理美容・情報通信・金融・旅行・環境・教育など)との共同事業や、PFIなどによる施設運営のあり方も今後は検討すべきと考えるがどうか。</p> <p><b>2 健康づくりポイント事業の推進について</b></p> <p>(1) 全国的に健康づくりポイント事業を行っている自治体は多いが、その仕組みは様々である。当市においても若い世代にも関心を持ってもらおうと、モバイル端末からの申込みも推進してきた。その上で、さらに若い世代や子育て世代が参加しやすくなるため、ポイント付与や景品の内容の見直し、拡充を図るべきと考えるがどうか。</p>

順番	質 問 事 項
氏名	
10	<p><b>1 令和5年度決算について</b></p> <p>(1) 実質収支41億6,963万円で黒字となったが、実質単年度収支はマイナス17億4,301万円で赤字となった。実質単年度収支が2年連続で赤字となり、その額が増大している。また、財政調整基金残高が計画値を下回っているが、これらについてどう考えているか。</p> <p>(2) 当市は、施行時特例市の中で財政状況が非常に厳しいと言える。この状況が続くことは、財政健全性に大きなリスクをもたらす可能性が高いが、早急に対応する考えはないか。</p> <p><b>2 行政改革の推進について</b></p> <p>(1) 第7次上越市行政改革推進計画に歳出の適正化がある。歳出削減を進める上で、事務事業ごとに削減目標額を掲げ、取組を進めることが効果的であると考えているがどうか。</p> <p>(2) 第7次上越市行政改革推進計画の取組の中でも、公共施設の適正管理と第三セクター等の経営健全化が重要であるが、今までどのように進め、これからどのように進めていくのか。</p>
順番	質 問 事 項
氏名	
11	<p><b>1 保倉川放水路整備の進捗について</b></p> <p>(1) 近年の気候変動によるゲリラ豪雨や線状降水帯の発生により、各地で豪雨災害が多発しているのを目の当たりにし、保倉川下流域の住民や企業の多くが保倉川放水路の早期着工を強く望んでいるが、令和6年7月の第26回関川流域委員会において、国から関川水系河川整備計画の対象期間は30年との説明があった。このことについて、市としてどのように対応していくのか。</p> <p>(2) 令和5年末に保倉川放水路の計画案が示され、概略ではあるが予定地内となる住宅が分かるような状況となった。予定地内の住民から将来設計に不安を感じている声をお聞きしているが、市としてどのような対応を考えているのか。</p>

順番	質 問 事 項
氏名	
12	1 学校給食について
高山ゆう子	<p>(1) 当市の給食用食材として、一般物資である素材品の一部は随意契約により納入されている。その他の加工品については数年前より一般競争入札が多くなったと聞かすが、一般競争入札とした理由を聞きたい。</p> <p>(2) 公益財団法人新潟県学校給食会とはどのような組織なのか。その役割について聞きたい。また、加工品等の一般物資の入札状況において、過去5年間の学校給食会と地元民間納入業者との落札比率はどうか。</p> <p>(3) 給食用食材や食品を購入するにあたり、適切な食材・食品の選定はどのように行っているか。</p> <p>(4) 牛乳、パン、麺、米の基本4点については、以前から学校給食会が納入業者への代金の配分機関になっているが、当市は公会計であり、なぜ納入業者に直接支払わないのか。配分機関をはさむことで、その分費用が上がり、保護者負担が増加しているのではないか。</p> <p>(5) 各学校は毎日残食を計量し、月ごとに教育委員会に報告していると思うが、学校給食の残食量と残食率について、当市の実態はどうか。</p> <p>(6) 全国では30%を超える市町村が学校給食の完全無償化を実施している。県内では4市町村(妙高市・阿賀町・湯沢町・弥彦村)で実施しており、地域間格差が生じている。当市で完全無償化を実施する場合、どの程度の費用が発生するのか。給食費無償化は少子化対策でもあり、未来を担う子どもたちは市全体で支え育てるものと考えますが、実施する考えはないか。</p>

順番	質問事項
氏名	
13	<p><b>1 小中学校のデジタル教育環境整備について</b></p> <p>(1) デジタル端末を活用するには、Wi-Fi環境の整備が必要であり、各学校において順次整備されているとのことだが、完全整備までの見通しを明らかにされたい。</p> <p><b>2 中学校の部活動の地域移行について</b></p> <p>(1) 中学校の部活動の地域移行が進められているが、部活動の種類によってその進捗状況に大きな差があるのではないかと。その差をどのように埋めていく考えか。</p> <p>(2) 特に吹奏楽部については、他の部活動とは異なる困難性があり、各自治体とも様々な工夫や努力をしながら、よりよい地域移行を模索している。当市においては、どのような方向で進めていく考えか。</p> <p>(3) 柏崎市では、地域の吹奏楽団体とも連携して、学校施設の改修も含めて地域移行を進めていると聞くが、把握しているか。ある程度把握しているとするならば、当市においてはどのようにいかしていく考えか。</p>
平良木哲也	
順番	質問事項
氏名	
14	<p><b>1 市長の不適切発言とその対応について</b></p> <p>(1) なぜ、不適切発言が続くのか。市長はその原因をどう認識しているか。</p> <p>(2) 一連の不適切発言後、関係団体などに謝罪しているが、謝罪は受け入れられたのか。特に令和6年6月定例会での不適切発言に関して、相手方の受け止め、対応をできるだけ具体的に明らかにしてほしい。</p> <p>(3) 令和6年6月定例会での不適切発言は全国ニュースになったが、なぜそうなったと認識しているか。</p> <p>(4) 令和6年6月定例会での不適切発言に関する市民、市民団体の声をどう把握し、対応したか。また、新潟県立高田農業高等学校校長の抗議をどう受け止め、対応したか。</p> <p>(5) 令和6年6月定例会での不適切発言後、進退について明らかにするまで時間がかかったが、何をどう検討したのか。この発言は即辞職に値するほどの重みは無いとの認識だったのか。</p> <p>(6) 市長続投を決断した一番の理由は何か。辞職を選択しなかった理由の一つに「行政の空白」が起きることを挙げているが、どうして「行政の空白」が生まれるのか。</p>
橋爪法一	